

2023 年度(令和 5 年度)  
事業計画書及び収支予算書

自 2023 年 3 月 1 日  
至 2024 年 2 月 29 日

公益社団法人 日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目 14 番 32 号

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

# 目 次

## ■ 2023 年度(令和 5 年度)事業計画書

### I.事業の計画

1. 基本方針 ..... 1
2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第 5 条第 1 号) ..... 2
3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第 5 条第 2 号) ..... 3
4. 学術に関する調査及び研究(定款第 5 条第 3 号) ..... 6
5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第 5 条第 4 号) ..... 9
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第 5 条第 5 号) . 11

### II.庶務の計画

1. 2023 年度事業に関わる諸会議および諸集会..... 11

## ■ 2023 年度(令和 5 年度)収支予算書

### 特記事項

- I. 収支予算書 ..... 13
- II. 収支予書内訳表..... 16

## ■ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 ..... 19

**公益社団法人 日本金属学会**  
**2023年度(令和5年度)事業計画書**  
2023年3月1日から2024年2月29日まで

**I. 事業の計画**

**1. 基本方針**

- ①2023 年度は公益社団法人としての 11 年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進するとともに、SDGs 達成に向けた体制強化と実践に向けた活動を推進する。
- ②刊行事業については、機関誌 3 誌の刊行を推進する。会報「まてりあ」においては、金属をはじめとする材料に関して学術的・技術的知見を幅広く得たいときに手軽に読め、かつ研究開発活動の一助となる情報誌であることを目指し、入門講座や講義ノートに加え、実学講座等の記事カテゴリーの一層の充実を図る。また、誌面や記事構成の改定等を推進する。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘や Review や Overview の和訳掲載等を推進する。Materials Transactions は、日本の代表的な材料系英文論文誌でありつづけるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの更なる向上を目指し、特集や Review, Overview, Current Trends in Research の掲載や査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、質の高い論文が掲載されていることの周知や被引用数の多い論文の著者への認定等の掲載論文引用の促進、掲載論文引用の積極的な要請等の施策を推進する。また、共同刊行における編集の一体化を推進する。学術図書類は、理数探求科目履修支援のためのコンテンツの制作を推進する。
- ③講演会・講習会事業については、with/post コロナ時代に即した事業の形態を検討していく。最新の研究や技術を発信し、大学・企業・研究所を越えた多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、オンラインを活用した形式の講演大会等の開催を検討するとともに、魅力ある公募ならびに企画シンポジウムの開催や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナーやシンポジウムの開催や次世代を担う人材の教育と育成に貢献するオンラインの教育講座を開催するとともに、高校生・高専生が材料の魅力を理解するための機会を作る。また、会員の活発な交流や材料分野での人材育成をより一層推進する。
- ④調査・研究事業については、我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科による活動を推進する。また、研究会や若手研究グループに加えて、分野を超えた取り組みを強化すべき課題に対して産・学・官が連携して取り組んでいくことを目的とした産学協創研究会の活動を開始する。若手研究者を対象として開始した研究助成事業の周知と活性化を図る。金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学术交流は、従来からの取り組みに加えて、秋期講演大会における国際セッションの開催を推進する。男女ともに学会で活躍できる環境作りのために男女共同参画事業を行う。
- ⑤表彰・奨励事業については、若手や民間企業の研究者・技術者を含め多様な層への授賞を推進する。
- ⑥学会の活動を広く周知するために、新ロゴマークの普及、SNS や Web を用いた情報発信等の広報活動を推進する。ノベルティやパンフレット等によるアウトリーチ活動を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めに則り、公正かつ適切に行う。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

## 2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

### (1) 日本金属学会会報「まてりあ」

#### ①発行

発行月日：2023年3月から2024年4月までの各月の1日

発行巻号：第62巻3号から第63巻2号までの12冊

発行部数：4900部

掲載頁数：55頁

電子ジャーナル：毎号発行

#### ②巻頭記事(サイエンスライター記事)

- ・第62巻 4号、8号、12号

#### ③特集等

- ・第62巻 7号 特集 材料技術史から見るこれからの技術展開V～鉄～ 6編程度
- ・第62巻 9号 特集 第2分野担当 6編程度
- ・第62巻 11号 特集 第3分野担当 6編程度
- ・第63巻 1号 特集 第4分野担当 5編程度
- ・第63巻 第1、2号 新技術・新製品特集 6編程度

#### ④特記事項

- ・まてりあを魅力ある会報とするために、実学講座、よくわかる!ピンポイント講座、思い出の教科書、この1冊!、科学館めぐり、“あのころ”のまてりあ、金属素描・金属なんでもランキング等の企画の掲載を継続するとともに、オンラインカラー化を推進する。また、講義ノートや入門講座の掲載を充実させる。
- ・新たに会員へのインタビュー記事の掲載を開始する。
- ・年間掲載スケジュールを作成して計画的な編集を行うとともに、紙面の体裁や記事構成の更新を推進する。

### (2) 日本金属学会誌

#### ①発行

発行月日：2023年3月から2024年2月までの偶数月の1日

発行巻号：第87巻3号4号合冊から第88巻1号2号合冊までの6冊

発行部数：290部

掲載頁数：50頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

#### ②特集

- ・第87巻4号 特集「固体中の水素と材料特性V」 5編程度
- ・第87巻4、5号 特集「2022年秋期大会講演精選論文」 4編程度
- ・第87巻5号 特集「保磁力の学理における最近の進歩」 20編程度
- ・第87巻10、11号 特集「2023年春期大会講演精選論文」 5編程度

#### ③特記事項

- ・掲載論文数の確保が見込めないため、冊子は2号を合冊して偶数月に刊行する。
- ・オーバービー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・特集紹介論文のカテゴリー「最新の研究動向」の論文を掲載し、引用を促進する。
- ・欧文誌掲載論文の和訳掲載を推進する。
- ・学生を対象とした論文の投稿勧誘を継続する。

### (3) Materials Transactions

#### ①発行

発行月日：2023年3月から2024年2月までの各月の1日

発行巻号：Vol. 64 No. 3号からVol. 65 No. 2までの12冊

発行部数：190部

掲載頁数：150頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

## ②特集

- ・ Vol. 64 No. 4 特集「Kink-Strengthening of Mille-Feuille Structured Materials」20編程度
- ・ Vol. 64 No. 4、5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2022」5編程度
- ・ Vol. 64 No. 6 特集「Creation of Materials by Superthermal Field」15編程度
- ・ Vol. 64 No. 7 特集「Superfunctional Nanomaterials by Severe Plastic Deformation」7編程度
- ・ Vol. 64 No. 8 特集「Integrated Computer-Aided Process Engineering」5編程度
- ・ Vol. 64 No. 10 特集「Metallurgy for Advanced Catalytic Materials」10編程度
- ・ Vol. 63 No. 10、11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2023」5編程度

## ③特記事項

- ・ インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・ 特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・ Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・ 特集を紹介する「Current Trends in Research」カテゴリーの論文掲載や高被引用論文の公開や被引用数の多い論文の著者にTop Cited Paper Certificateを発行することを継続し、引用を促進する。
- ・ 査読の質を向上させることを目的に、Best Reviewer Certificateを発行する。
- ・ 著者選択フリーダウンロードサービス（投稿・掲載費用に追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス）及び引用の見込まれる論文のフリーダウンロードを継続する。
- ・ すべての論文のGraphical Abstractを掲載することを継続する。
- ・ 共同刊行学協会で統一した投稿・査読プロセスを使用するとともに、編集方針の統一化を推進する。

## (4) 学術図書類

- ①理数探求用動画の制作

## 3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

### (1) 講演大会

- ①講演大会委員会：4回（2023年3月、5月、9月、11月）

a. 春秋講演大会の業務執行の協議を行なう。

- ②講演大会企画委員会：2回（2023年7月、2024年1月）

a. 講演大会に関する企画および運営の協議を行う。

b. 春秋講演大会のプログラム編成を行う。

c. 講演大会活性化施策を推進する。

- ③春期(第172回)大会

・ 口頭発表：2023年3月8日～10日、東京大学駒場 I キャンパス（東京都目黒区）

・ ポスターセッション：2023年3月7日、東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区）

・ 高校生・高専生ポスターセッション：2023年3月15日、オンライン

a. 大会参加者数：1,000人(予定)

b. 講演発表件数：700件(予定)

c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、高校生・高専生ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演

d. 付設行事：付設展示会、ランチョンセミナー、学生キャリアサポートセミナー

e. 講演概要集：ダウンロード、2023年2月21日公開予定

#### ④秋期(第173回)大会

- ・口頭発表：2023年9月19日～22日、富山大学五福キャンパス(富山市)
- ・ポスターセッション：2023年9月19日、場所未定
- ・高校生・高専生ポスターセッション：2026年9月、オンライン
  - a. 大会参加者数：1,500人(予定)
  - b. 講演発表件数：1,000件(予定)
  - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション(高校生・高専生ポスター含む)、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演、国際セッション
  - d. 第21回World Materials Day Award展示
  - e. 付設行事：付設展示会、ランチョンセミナー、学生キャリアサポートセミナー
  - f. 講演概要集：ダウンロード、2023年9月5日発行予定

### (2) セミナーおよびシンポジウム

- ①セミナー・シンポジウム委員会：4回(2023年3月、7月、9月、2024年1月)
  - ・オンライン教育講座、セミナーおよびシンポジウムを企画・推進する。
- ②シンポジウム(2件)
  - 1) 電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用；電池反応から腐食まで
    - ・開催時期：未定、開催場所：未定
  - 2) カーボンニュートラル・水素社会実現に向けた触媒材料の研究・開発の最新動向
    - ・開催時期：未定、開催場所：未定
- ③セミナー
  - ・開催予定なし
- ④オンライン教育講座(5件)
  - 1) 医療用金属材料の基礎
    - ・開催時期：2023年5月
  - 2) 弾性異方性の考え方
    - ・開催時期：2023年5月
  - 3) 金属材料の耐環境性(2) 高温酸化・高温腐食の基礎－熱力学・速度論・高温強度－
    - ・開催時期：2023年6月
  - 4) 金属の残留応力の測定
    - ・開催時期：2023年10月
  - 5) 構造材料(1) ー鉄鋼材料ー 鋳鉄、鋼(薄板)、鋼(厚板)、ステンレス鋼
    - ・開催時期：2023年11月

\*開催場所は、いずれもオンライン

### (3) 国内学協会共催講演会

- ・国内他学協会からの依頼により講演会を共催する。

### (4) 国際会議および国際シンポジウム

- ①第20回金属・合金の強度に関する国際会議(ICSMA20th)
  - ・2025年に本会主催で開催するための補助金を支出し、準備を行う。
- ②PRICM 11
  - ・2024年11月に本会共催で開催する。

### (5) 支部講演会および講習会(他学協会等との共催を含む)

- ①北海道支部
  - ・支部講演大会
  - 日本鉄鋼協会・日本金属学会 両北海道支部合同サマーセッション・特別講演会

- 2023年7月 開催場所 室蘭工業大学 発表件数50件 参加予定80名  
 日本金属学会・日本鉄鋼協会 両北海道支部合同冬季講演大会・特別講演会  
 2024年1月 開催場所 北海道大学 発表件数50件 参加予定100名
- ・本多記念講演会 2024年1月 開催場所 講演1件 参加予定100名
  - ・北海道支部学術講演会
    - 第1回 2023年5月 開催場所 北海道大学 講演1件 参加予定40名
    - 第2回 2023年8月 開催場所 室蘭工業大学 講演1件 参加予定40名
    - 第3回 2023年12月 開催場所 北海道大学 講演1件 参加予定40名
- ②東北支部
- ・支部講演大会／地区（特別）講演会
    - 東北地区 2023年12月 八戸工業高等専門学校 参加予定50名
  - ・本多記念講演会
    - 開催未定（今後本多記念会理事会等で審議し、決定予定）
  - ・特別講演会／地区特別講演会
    - 10回程度の開催を予定
  - ・講習会／セミナー
    - 2023年7月 東北大学 学都仙台・宮城 サイエンスデイ 10,000名
    - 2023年8月 東北大学 夏休み子ども科学キャンパス 200名
    - 2023年10月 東北大学 秋休み子ども科学キャンパス 200名
- ③関東支部
- ・本多光太郎記念講演会 1回：2023年12月、場所未定、講演1件、参加予定10名
  - ・講習会
    - 第1回 講習会 2023年10月～11月（全5回）開催場所：未定（オンライン）  
テーマ名：未定 参加予定50名
    - 第2回 “これをマスターすれば中級者になれる！” シリーズの講習会  
2023年12月 開催場所：未定 講義及び実習 参加予定10名
- ④東海支部
- ・支部講演大会
    - 材料フォーラムTOKAI 2023年10月の予定 開催場所：未定 発表件数：約80件  
参加予定：約130名
  - ・本多記念講演会 2023年11月 開催場所：未定 講演2～4件  
参加予定：約130名（湯川記念講演会との共同開催）
  - ・特別講演会／地区特別講演会
    - 特別講演会（第1回）2023年3月の予定 開催場所：未定 講演1件 参加予定：約40名
    - 特別講演会（第2回）2023年10月の予定（材料フォーラムTOKAIと共同開催）  
開催場所：未定 講演1件 参加予定：約130名
  - ・技術交流フォーラム 2024年1月の予定 開催場所：未定 講演2～4件  
参加予定：約80名（学術討論会との共同開催）
  - ・談話会
    - 第1回 開催月：未定 開催場所：未定 講演名：金属材料談話会 参加予定：約40名
    - 第2回 開催月：未定 開催場所：未定 講演名：材料プロセッシング談話会  
参加予定：約40名
  - ・学術討論会（東海支部）2024年1月の予定 開催場所：未定 発表件数：講演2～4件  
参加予定：約80名（技術交流フォーラムとの共同開催）
- ⑤北陸信越支部
- ・連合講演大会 2023年12月 開催場所 福井工業大学 発表件数150件参加予定200名
  - ・本多記念講演会 2023年12月 開催場所 福井工業大学 講演1件 参加予定200名
  - ・特別講演会／地区特別講演会
    - 第1回 2023年7月開催場所 ANAクラウンプラザホテル富山 講演2件 参加予定70名

- 第2回 2023年6月 開催場所 金沢大学 講演1件 参加予定50名
- ・講習会／セミナー
    - 第1回 2023年6月 開催場所 長野県工業技術総合センター テーマ未定 参加予定70名
    - 第2回 2023年12月 開催場所 信州大学 テーマ未定 参加予定70名
- ⑥関西支部
- ・本多記念講演会
    - 2023年9月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
講演1件 参加予定30～40名
  - ・特別講演会／地区特別講演会
    - 第1回(湯川記念講演会) 2023年4月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
講演1件 参加予定30～40名
    - 第2回(湯川記念講演会) 2024年1月 開催場所 日本製鉄(株)  
講演1件 参加予定30～40名
  - ・講習会／セミナー
    - 第1回材料セミナー 2023年10～12月 開催場所 SPring-8  
テーマ名「放射光による組織観察・分析の基礎と応用」 参加予定15名
    - 第2回材料セミナー 2023年10～12月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
テーマ名「材料科学におけるマテリアルズ・インフォマティクスの最近の発展」  
参加予定40名
    - 第3回材料セミナー 2023年10～12月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
テーマ名「技術者のための鉄鋼材料入門」 参加予定40名
- ⑦中国四国支部
- ・支部講演大会
    - 春／夏期大会 2023年8月 徳島大学 発表件数50件 参加予定70名
  - ・本多記念講演会
    - 2023年3月 岡山市 講演1件 参加予定40名
    - 2023年8月 徳島大学 講演1件 参加予定70名
- ⑧九州支部
- ・春／夏期大会 2023年4月 オンライン 発表件数3件 参加予定60名
  - ・秋／冬期大会 2023年10月 鹿児島大学 発表件数3件 参加予定40名
  - ・地区(特別)講演会 熊本地区 2023年6月 発表件数100件 参加予定200名
  - ・本多記念講演会 2023年10月 鹿児島大学 講演1件 参加予定40名

#### 4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号)

##### (1) 研究会(継続8テーマ、新規2テーマ)

###### ①継続テーマ

研究会番号	研究会名
75	キンク研究会
80	高エネルギー環境用材料評価研究会
81	材料機能特性のアーキテクチャー研究会
82	微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会
83	高温材料の変形と破壊研究会
84	ソフト磁性研究会
85	状態図・計算熱力学研究会
86	結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会

###### ②新規テーマ

研究会番号	研究会名
87	水素が関わる材料科学の課題共有研究会
88	高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会



## (2) 産学協創研究会(継続4テーマ)

### ①継続テーマ

番号	研究会名
1	金属アディティブ・マニュファクチャリング研究会
2	カーボンニュートラル研究会
3	新材料・新機能創製研究会
4	マテリアルズインテグレーション(MI)研究会

## (3) 若手研究グループ(継続1グループ、新規2グループ)

### ①継続グループ

番号	グループ名
7	CO <sub>2</sub> ゼロエミッション社会に向けた耐環境構造金属材料研究グループ

### ②新規グループ

番号	グループ名
8	原子力エネルギー用材料研究グループ
9	非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ

## (3) 研究助成(金属学会フロンティア研究助成)

- ・案件の募集を行い、採択案件(10件予定)を決定し、助成金を交付する。

## (4) 調査研究委員会

### ①調査研究委員会：2回(2023年3月、2023年9月)

- ・調査・研究に関する業務執行の協議を行う。
- ・研究会、若手研究グループ、フロンティア研究助成の募集、審査、採択の業務を行う、

### ②調査研究推進委員会：2回(2023年7月、2024年1月)

- ・調査・研究に関する事業の活性化を推進する。
- ・研究会の審査、採択の業務を行う、

### ③第1～9分科の活動

- ・各分科での活動を推進する。

## (5) 他の委員会活動

### ①企画委員会

- ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。

### ②セルフガバナンス委員会

- ・コンプライアンス遵守を推進する。

### ③長期展望委員会

- ・事務局に係る検討を行なう。

### ④戦略推進委員会

- ・関連学協会との連携を推進する。

### ⑤科研費委員会

- ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。

### ⑥人材育成委員会

- ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。
- ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。

### ⑦男女共同参画委員会

- ・男女共同参画委員会(日本鉄鋼協会と合同)：2023年3月、2023年9月
- ・男女共同参画ランチョンミーティング：2023年3月
- ・女性会員の集い：2023年9月

## ⑧国際学術交流委員会

- ・TMS、KIM、IOMMS、ASM International、PRICM 11等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
- ・秋期講演大会において国際セッションを開催する。

## (6) 支部研究会等活動

### ①東北支部

- ・支部研究発表大会 2023年11月 岩手大学 参加予定100名

### ②関東支部

- ・ヤングメタラジスト研究交流会 1回：2023年11月、場所未定、参加予定30名

### ③東海支部

- ・若手材料研究会 2023年11月の予定 開催場所：未定 参加予定：約80名
- ・若手冶金エンジニア研究会 2023年11月の予定 開催場所：未定 参加予定：約80名

### ④北陸信越支部

#### ・材料研究会

第1回 2023年10月 開催場所 富山大学 参加予定50名

第2回 2024年2月 開催場所 富山大学 参加予定50名

#### ・フォーラム

材料フォーラム 2023年10月 開催場所 めがね会館 参加予定50名

材料フォーラム 2024年2月 開催場所 めがね会館 参加予定50名

ものづくり教育 2023年9月 開催場所 長岡技術科学大学 たたら製鉄実演  
参加予定90名

### ⑤関西支部

#### ・材料物性工学談話会

第1～2回 2023年5月～2024年2月 開催場所（未定） 参加予定25～80名

#### ・鉄鋼プロセス研究会

第1～2回 2023年5月～2024年2月 開催場所（未定） 参加予定25～80名

#### ・マテリアルデザイン研究会

第1～2回 2023年5月～2024年2月 開催場所（未定） 参加予定25～80名

#### ・関西分析研究会

第1～2回 2023年5月～2024年2月 開催場所（未定） 参加予定25～80名

#### ・材料化学研究会

第1～2回 2023年5月～2024年2月 開催場所（未定） 参加予定25～80名

### ⑥中国四国支部

・金属物性研究会 2023年4月～2024年2月 3回 中四国地区 参加予定約30名

・材質制御研究会 2023年4月～2024年2月 3回 中四国地区 参加予定約30名

・若手フォーラム 2023年4月～2024年2月 3回 中四国地区 参加予定40～100名

## (7) 支部見学会活動

### ①関東支部

- ・支部見学会 1回：2023年10月 場所未定、参加予定20名

### ②関西支部

- ・支部見学会 1回：2024年1月 開催場所 日本製鉄(株) テーマ未定 参加予定30～40名

## (8) 国内学協会連携活動

### ①日本学術会議

- ・理学・工学系学協会連絡協議会に参加し、情報交換を行う。
- ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。

- ②日本工学会
  - ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：8回
- ③技術者教育制度認定活動
  - ・JABEE(日本技術者教育認定機構)活動に協力する。
  - ・ISIJ-JABEE委員会にオブザーバー参加する：2回
- ④全国大学材料関係教室協議会
  - ・オブザーバー参加する：2回
- ⑤男女共同参画活動
  - ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
  - ・(一社)日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

## (9) 国際学協会連携活動

- ①IOMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
  - ・第21回World Materials Day(2023年11月1日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM:The Korean Institute of Metals and Materials)
  - ・2023年春期講演大会へKIM代表を招待する。
  - ・本会代表をKIM年次総会へ派遣する。
  - ・第22回KIM-JIMシンポジウムを本会主催で2023年9月の秋期講演大会において開催する。
- ③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)
  - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。  
2023年3月に本会2023年春期講演大会にTMSからの派遣者3名を受け入れる。  
2023年3月のTMS2023年次大会にJIM Young Leader3名を派遣する。  
2024年3月のTMS2024年次大会に派遣するJIM Young Leader1名を決定する。
- ④ASM International
  - ・ASMコンテンツの割引購入を継続するとともに国際セッションへ招待する。

## 5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

### (1) 名誉員および各種賞授賞者ならびにフェロー等の選考委員会

選考委員会	開催数	備考
名誉員検討委員会	1	
各種賞検討委員会	6	
学会賞選考委員会	1	第69回授賞選考
村上記念賞選考委員会	1	第20回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第65回授賞選考
増本量賞選考委員会	1	第30回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第63回授賞選考
功績賞選考委員会	1	第82回授賞選考
研究技能功労賞選考委員会	1	第55回授賞選考
村上奨励賞選考委員会	1	第20回授賞選考
奨励賞選考委員会	1	第33回授賞選考
技術開発賞選考委員会	1	第46回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第74回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第71回授賞選考
新進論文賞選考委員会	1	第3回授賞選考
まてりあ賞選考委員会	1	第13回授賞選考

優秀ポスター賞選考委員会	2	第40, 41回授賞選考
高校・高専学生ポスター賞選考委員会	2	第9, 10回授賞選考
奨学賞選考委員会	1	第32回授賞選考
フェロー選考委員会	1	第7回フェロー選考
他機関の各種学術賞、奨励金等推薦	随時	

## (2) 名誉員推戴

- ①名誉員推戴 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）

## (3) 各賞贈呈

- ①第68回学会賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）
- ②第20回村上記念賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）
- ③第64回技術賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）
- ④第29回増本量賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）
- ⑤第62回谷川・ハリス賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）
- ⑥第81回功績賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）  
学術部門、技術部門
- ⑦第54回研究技能功労賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）
- ⑧第20回村上奨励賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）
- ⑨第33回奨励賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）  
学術部門、技術部門
- ⑩第46回技術開発賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）
- ⑪第73回金属組織写真賞 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）  
第1部門（光学顕微鏡部門）、第2部門（走査電子顕微鏡部門）、第3部門（透過電子顕微鏡部門）、第4部門（顕微鏡関連部門）
- ⑫第71回論文賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）  
物性部門、組織部門、力学特性部門、材料化学部門、材料プロセッシング部門、工業材料部門、環境・教育・歴史および新領域部門
- ⑬第3回新進論文賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）  
会誌部門、欧文誌部門
- ⑭第13回まてりあ賞 2023年9月20日 富山大学（富山市）  
まてりあ論文賞、まてりあ啓発・教育賞
- ⑮第40回優秀ポスター賞 2023年3月  
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑯第41回優秀ポスター賞 2023年9月  
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑰第9回高校・高専学生ポスター賞 2023年3月  
(各校において贈賞)
- ⑱第10回高校・高専学生ポスター賞 2023年9月  
(各校において贈賞)
- ⑲第31回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 2023年3月各大学卒業時実施  
(各学科等において贈賞)
- ⑳第21回World Materials Day Award 2023年11月1日 各所属機関において贈賞  
最優秀賞、部門賞（3部門）

## (4) フェロー認定

- ①フェロー認定 2023年3月8日 東京大学（東京都目黒区）

## (5) 支部表彰事業

### ①北海道支部

- ・サマーセッション 奨励賞  
2023年7月 授賞場所 室蘭工業大学 受賞者3名
- ・冬季講演大会 奨励賞  
2024年1月 授賞場所 北海道大学 受賞者3名

### ②東北支部

- ・学生ポスター賞（支部研究発表大会）時期・場所未定

### ③関東支部

- ・ヤングメタラジストポスター賞 2023年11月 場所未定 受賞者3名

### ④東海支部

- ・支部表彰 2023年11月 授賞場所：材料フォーラムTOKAI 受賞者：約10名

### ⑤北陸信越支部

- ・2023年12月 授賞場所 福井県 連合講演会学生優秀発表表彰 受賞者 5名
- ・2023年12月 授賞場所 福井県 支部功績賞表彰 受賞者 1名

### ⑥中国四国支部

- ・2023年12月 授賞場所 岡山市 講演大会優秀学生賞 約4名
- ・2023年12月 授賞場所 岡山市 支部長賞 約1名

### ⑦九州支部

- ・合同学術講演会 優秀学生表彰 18名（英語口頭発表：2名、口頭発表：16名）

## 6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

## II. 庶務の計画

### 1. 特記事項

- ①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。
- ②広報活動を推進する。
  - ・新ロゴマークの普及、SNSやWebを用いた情報発信等の広報活動を積極的に推進する。パンフレットやノベルティ等によるアウトリーチ活動を推進する。

### 2. 2022度事業に関わる諸会議および諸集会

#### (1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会（定時1回）	1
理事会	7
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	4
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	4
企画委員会	6
長期展望委員会	1
セルフガバナンス委員会	1
調査研究委員会	2

調査研究推進委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	1
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	1
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	6
学会賞選考委員会	1
村上記念賞等各賞の選考委員会	20
フェロー選考委員会	1
支部会議	28

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	2
フェロー認定式	1
講演大会	2
シンポジウム	2
セミナー・オンライン教育講座	5
研究会集会	14
研究グループ集会	3
支部講演会・講習会等	52
支部研究会等	28
支部見学会	2
支部表彰式	10

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	3
男女共同参画合同委員会	2
奨学賞贈呈式	37
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM-JIMシンポジウム	1

**公益社団法人 日本金属学会**  
**2023年度収支予算書**

2023年3月1日から2024年2月28日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>特定資産運用益</b>	21,577,114	25,105,198	-3,528,084	
<b>特定資産受取利息</b>	21,577,114	25,105,198	-3,528,084	
退職給付引当資産	693,369	693,338	31	
減価償却引当資産	87	82	5	
刊行事業資金	6,391,000	6,391,000	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	1,286	1,286	0	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
調査・研究事業資金	5,290,464	5,290,464	0	
調査・研究事業拡充資金	6,000	6,000	0	
国際学術交流資金	40,800	1,734,000	-1,693,200	国債償還
国際会議準備資金	550	550	0	
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	210,018	235,503	-25,485	
研究技術功労賞資金	70	119,000	-118,930	国債償還
奨励賞・奨学賞等資金	945	841,950	-841,005	国債償還
谷川・ハリス賞資金	150	255,000	-254,850	国債償還
増分量賞資金	350	595,000	-594,650	国債償還
村上賞資金	1,900,400	1,900,400	0	
<b>受取入会金</b>	100,000	120,000	-20,000	
受取入会金	100,000	120,000	-20,000	
<b>受取会費</b>	61,910,000	64,990,000	-3,080,000	
正員受取会費	31,500,000	34,100,000	-2,600,000	会員減
学生員受取会費	3,200,000	3,080,000	120,000	
維持員受取会費	26,000,000	26,600,000	-600,000	口数減
外国会員受取会費	1,210,000	1,210,000	0	
<b>事業収益</b>	85,376,603	85,773,734	-397,132	
<b>刊行事業収益</b>	45,994,603	49,541,734	-3,547,132	
会報購読費収益	1,924,885	1,728,150	196,735	
会誌購読費収益	3,735,633	3,947,933	-212,300	
欧文誌購読費収益	9,689,373	9,796,073	-106,700	
会報別刷等収益	3,263,400	3,969,000	-705,600	別刷減
会誌別刷・審査収益	390,000	390,000	0	
欧文誌別刷・審査収益	20,040,000	21,912,000	-1,872,000	掲載論文数減
刊行事業広告収益	4,860,000	4,140,000	720,000	
単行本収益	1,091,312	3,158,578	-2,067,267	電子化による販売数減
著作権料収益	1,000,000	500,000	500,000	
<b>講演会・講習会事業収益</b>	38,710,000	35,560,000	3,150,000	
講演大会参加費収益	25,950,000	23,890,000	2,060,000	参加者増
講演大会懇親会参加費収益	1,050,000	1,050,000	0	
金属学会シンポジウム参加費収益	600,000	1,800,000	-1,200,000	シンポジウム開催減
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	5,590,000	3,590,000	2,000,000	オンライン教育講座開催
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	3,320,000	3,110,000	210,000	
支部講演会・講習会事業収益	1,600,000	1,600,000	0	
講演会・講習会事業委託収益	560,000	480,000	80,000	
<b>調査・研究事業収益</b>	0	0	0	
調査・研究事業収益	0	0	0	
<b>表彰・奨励事業収益</b>	672,000	672,000	0	
審査・投稿料収益	672,000	672,000	0	
<b>受取補助金等</b>	1,000,000	500,000	500,000	
受取国庫助成金	0	500,000	0	雇用助成金減
受取地方公共団体助成金	1,000,000	0	1,000,000	秋期講演大会助成金
<b>受取負担金</b>	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
<b>受取寄付金</b>	20,000,000	10,000,000	10,000,000	
受取寄付金	20,000,000	10,000,000	10,000,000	刊行事業拡充賛助寄付資金から振替
<b>雑収益</b>	21,100	151,070	-129,970	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	20,000	150,000	-130,000	
支部受取利息・雑収益	100	70	30	
<b>経常収益計</b>	<b>189,984,817</b>	<b>186,640,002</b>	<b>3,344,814</b>	

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>事業費</b>	<b>175,246,906</b>	<b>171,790,972</b>	<b>3,455,934</b>	
<b>刊行事業費</b>	<b>78,202,897</b>	<b>80,009,402</b>	<b>-1,806,505</b>	
給料手当	26,339,000	24,300,000	2,039,000	職員増
退職給付費用	1,686,500	1,561,000	125,500	
福利厚生費	4,161,461	4,031,500	129,961	
会報刊行費	33,191,646	33,698,206	-506,560	
会誌刊行費	2,300,037	2,452,024	-151,987	
欧文誌刊行費	9,150,253	12,592,672	-3,442,419	掲載数減
学術図書刊行費	1,374,000	1,374,000	0	
<b>講演会・講習会事業費</b>	<b>58,114,401</b>	<b>53,309,930</b>	<b>4,804,471</b>	
給料手当	15,803,400	14,580,000	1,223,400	職員増
退職給付費用	1,011,900	936,600	75,300	
福利厚生費	2,496,877	2,418,900	77,977	
講演大会開催費	26,603,449	24,662,000	1,941,449	春期講演大会現地開催会場費
講演大会懇親会費	1,040,000	1,040,000	0	
本多記念講演開催費	132,300	128,800	3,500	
金属学会シンポジウム開催費	722,385	2,739,540	-2,017,155	シンポジウム開催減
セミナー開催費	1,835,090	1,835,090	0	
国際会議開催費	3,500,000	0	3,500,000	国際会議開催補助金
支部講演会・講習会開催費	4,969,000	4,969,000	0	
<b>調査・研究事業費</b>	<b>30,845,299</b>	<b>28,544,740</b>	<b>2,300,559</b>	
給料手当	2,633,900	2,430,000	203,900	
退職給付費用	168,650	156,100	12,550	
福利厚生費	416,146	403,150	12,996	
関連団体連携事業費	21,500	21,500	0	
日本工学会費	347,540	247,540	100,000	
材料戦略委員会費	10,000	10,000	0	
科研費委員会費	1,000	1,000	0	
人材育成委員会費	140,000	140,000	0	
男女共同参画委員会費	100,000	100,000	0	
調査研究委員会費	1,979,563	2,918,450	-938,887	会議費減
研究会費	4,500,000	3,500,000	1,000,000	若手研究グループ増
研究助成費	15,000,000	15,000,000	0	
企画委員会費	2,000	2,000	0	
セルフガバナンス委員会費	10,000	10,000	0	
国際学術交流委員会費	3,661,000	1,751,000	1,910,000	Young Leader派遣、PRICM-11派遣
支部調査・研究事業費	1,854,000	1,854,000	0	
<b>表彰・奨励事業費</b>	<b>8,084,309</b>	<b>9,926,900</b>	<b>-1,842,591</b>	
給料手当	2,633,900	2,430,000	203,900	
退職給付費用	168,650	156,100	12,550	
福利厚生費	416,146	403,150	12,996	
名誉員費	157,700	251,700	-94,000	
各種賞検討委員会費	679,563	2,256,550	-1,576,987	会議費減
学会賞費	587,850	583,850	4,000	
技術賞費	93,550	115,400	-21,850	
技術開発賞費	326,100	321,900	4,200	
金属組織写真賞費	72,200	72,200	0	
研究技術功労賞費	721,900	693,900	28,000	
功績賞費	153,250	143,250	10,000	
奨励賞・奨学賞等費	330,900	330,900	0	
谷川・ハリス賞費	63,700	59,700	4,000	
増本量賞費	204,350	204,350	0	
まてりあ賞	5,100	5,100	0	
村上賞費	1,155,750	1,155,750	0	
論文賞費	96,350	525,750	-429,400	
フェロー費	4,350	4,350	0	
支部表彰・奨励事業費	213,000	213,000	0	
<b>管理費</b>	<b>18,378,718</b>	<b>21,123,800</b>	<b>-2,745,082</b>	
給料手当	5,267,800	4,860,000	407,800	
退職給付費用	337,300	312,200	25,100	
福利厚生費	832,292	806,300	25,992	
会議費	700,000	700,000	0	
旅費交通費	1,000,000	1,500,000	-500,000	
通信運搬費	800,000	800,000	0	
減価償却費	189,900	161,000	28,900	



消耗什器備品費	45,000	280,600	-235,600	
消耗品費	2,350,000	4,750,000	-2,400,000	広報費用減
修繕費	10,000	10,000	0	
印刷製本費	500,000	500,000	0	
光熱水料費	35,726	41,500	-5,774	
賃借料	528,000	528,000	0	
保険料	12,100	13,000	-900	
諸謝金	20,000	20,000	0	
租税公課	3,200,000	3,200,000	0	
送金手数料	132,500	119,000	13,500	
支払負担金	50,000	50,000	0	
システム管理費	285,900	390,000	-104,100	
委託費	1,582,200	1,582,200	0	
雑費	500,000	500,000	0	
経常費用計	193,625,624	192,914,772	710,852	
評価損益等調整前経常増減額	-3,640,808	-6,274,770	2,633,962	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	-3,640,808	-6,274,770	2,633,962	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-3,640,808	-6,274,770	2,633,962	
一般正味財産期首残高	1,094,624,747	1,074,545,441	20,079,306	
一般正味財産期末残高	1,090,983,939	1,068,270,671	22,713,268	
II. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,900,400	1,900,400	0	
未経過償還差額金の償却額	30,380	30,380	0	
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0	
一般正味財産への振替額	21,980,780	11,980,780	10,000,000	20,000,000円を受取寄付金へ振替
当期指定正味財産増減額	-20,000,000	-10,000,000	-10,000,000	
指定正味財産期首残高	437,054,306	436,923,926	130,380	
指定正味財産期末残高	417,054,306	426,923,926	-9,869,620	
III. 正味財産期末残高	1,508,038,245	1,495,194,597	12,843,648	

(注) 1. 小科目の対前年度予算額比50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

2023年度収支予算書内訳表

2023年3月1日から2024年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公 益		目 的		事 業		法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	刊 行 事 業	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業	調 査 ・ 研 究 事 業	表 彰 ・ 奨 励 事 業	共 通 小 計	共 通 小 計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	6,392,286	5,992,175	5,337,264	3,161,933	624,110	21,507,768	69,346	0	21,577,114
特定資産受取利息	6,392,286	5,992,175	5,337,264	3,161,933	624,110	21,507,768	69,346	0	21,577,114
受取人会金	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	100,000
受取入会金	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	100,000
受取会費	0	0	0	0	43,337,000	43,337,000	18,573,000	0	61,910,000
正員受取会費	0	0	0	0	22,050,000	22,050,000	9,450,000	0	31,500,000
学生員受取会費	0	0	0	0	2,240,000	2,240,000	960,000	0	3,200,000
維持員受取会費	0	0	0	0	18,200,000	18,200,000	7,800,000	0	26,000,000
外国会員受取会費	0	0	0	0	847,000	847,000	363,000	0	1,210,000
事業収益	45,994,603	38,710,000	0	672,000	0	85,376,603	0	0	85,376,603
刊行事業収益	45,994,603	0	0	0	0	45,994,603	0	0	45,994,603
講演会・講習会事業収益	0	38,710,000	0	0	0	38,710,000	0	0	38,710,000
調査・研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
表彰・奨励事業収益	0	0	0	672,000	0	672,000	0	0	672,000
受取補助金等	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
受取地方公共団体助成金	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000	0	0	20,000,000
受取寄付金	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000	0	0	20,000,000
雑収益	0	0	0	0	21,100	21,100	0	0	21,100
受取利息	0	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
雑収益	0	0	0	0	20,000	20,000	0	0	20,000
支部受取利息・雑収益	0	0	0	0	100	100	0	0	100
経常収益計	72,386,889	45,702,175	5,337,264	3,933,933	43,982,210	171,342,471	18,642,346	0	189,984,817
(2) 経常費用									
事業費	78,202,897	58,114,401	30,845,299	8,094,309	0	175,246,906	0	0	175,246,906
給料手当	26,339,000	15,803,400	2,633,900	2,633,900	0	47,410,200	0	0	47,410,200
臨時雇賃金	0	2,291,000	167,000	127,000	0	2,585,000	0	0	2,585,000
退職給付費用	1,686,500	1,011,900	168,650	168,650	0	3,035,700	0	0	3,035,700
福利厚生費	4,161,461	2,496,877	416,146	416,146	0	7,490,630	0	0	7,490,630
会議費	25,000	8,320,225	1,879,000	39,000	0	10,263,225	0	0	10,263,225
旅費交通費	362,000	3,254,720	7,400,000	479,000	0	11,495,720	0	0	11,495,720
通信運搬費	8,747,820	1,491,000	188,000	28,000	0	10,454,820	0	0	10,454,820
減価償却費	949,500	569,700	94,950	94,950	0	1,709,100	0	0	1,709,100
消耗什器備品費	225,000	135,000	22,500	22,500	0	405,000	0	0	405,000
消耗品費	444,000	583,000	506,500	15,000	0	1,548,500	0	0	1,548,500

修繕費	50,000	30,000	5,000	5,000	0	90,000	0	0	90,000
印刷製本費	29,221,080	5,553,800	616,000	311,600	0	35,702,480	0	0	35,702,480
光熱水料費	178,632	107,179	17,863	17,863	0	321,537	0	0	321,537
賃借料	2,640,000	1,584,000	264,000	264,000	0	4,752,000	0	0	4,752,000
保険料	60,500	36,300	6,050	6,050	0	108,900	0	0	108,900
諸謝金	984,404	2,233,000	777,000	777,000	0	3,994,404	0	0	3,994,404
送金手数料	662,500	400,500	67,250	67,250	0	1,197,500	0	0	1,197,500
賞状・賞牌・副賞費	0	76,100	0	3,188,450	0	3,264,550	0	0	3,264,550
支払助成金	0	3,500,000	15,000,000	0	0	18,500,000	0	0	18,500,000
支払負担金	0	120,000	392,540	50,000	0	562,540	0	0	562,540
システム管理費	1,429,500	8,167,700	142,950	142,950	0	9,883,100	0	0	9,883,100
雑費	36,000	349,000	80,000	7,000	0	472,000	0	0	472,000
管理費	0	0	0	0	0	18,378,718	0	0	18,378,718
給料手当	0	0	0	0	0	5,267,800	0	0	5,267,800
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	337,300	0	0	337,300
福利厚生費	0	0	0	0	0	832,292	0	0	832,292
会議費	0	0	0	0	0	700,000	0	0	700,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	800,000	0	0	800,000
減価償却費	0	0	0	0	0	189,900	0	0	189,900
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	45,000	0	0	45,000
消耗品費	0	0	0	0	0	2,350,000	0	0	2,350,000
修繕費	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	35,726	0	0	35,726
賃借料	0	0	0	0	0	528,000	0	0	528,000
保険料	0	0	0	0	0	12,100	0	0	12,100
諸謝金	0	0	0	0	0	20,000	0	0	20,000
租税公課	0	0	0	0	0	3,200,000	0	0	3,200,000
送金手数料	0	0	0	0	0	132,500	0	0	132,500
支払負担金	0	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
システム管理費	0	0	0	0	0	285,900	0	0	285,900
委託費	0	0	0	0	0	1,582,200	0	0	1,582,200
雑費	0	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000
経費用計	78,202,897	58,114,401	30,845,299	8,084,309	0	175,246,906	0	0	175,246,906
評価損益等調整前経常増減額	-5,816,008	-12,412,226	-25,508,035	-4,150,376	43,982,210	-3,904,436	263,628	0	193,625,624
評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	-3,640,808
当期経常増減額	-5,816,008	-12,412,226	-25,508,035	-4,150,376	43,982,210	-3,904,436	263,628	0	-3,640,808

科 目	公 益 目 的 事 業 会 社				法 人 会 社	内 部 取 引 消 去	合 計
	刊 行 事 業 講 演 会 ・ 講 習 会 事 業 調 査 ・ 研 究 事 業 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 通 小 計	公 益 目 的 事 業 会 社	法 人 会 社	内 部 取 引 消 去			
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	5,816,008	12,412,226	25,548,499	4,150,376	-47,927,110	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	40,464	0	-3,944,900	-3,904,436	-3,640,808
一般正味財産期首残高	305,000,000	334,828,272	269,959,118	60,000,000	69,117,304	1,038,904,694	1,085,658,340
一般正味財産期末残高	305,000,000	334,828,272	269,999,582	60,000,000	65,172,404	1,035,000,258	1,082,017,532
II 指定正味財産増減の部							
特定資産受取利息	0	0	0	1,900,400	0	1,900,400	1,900,400
未経過償還差額金の償却額	0	0	0	30,380	0	30,380	30,380
刊行事業拡充費助寄付金	50,000	0	0	0	0	50,000	50,000
一般正味財産への振替額	20,000,000	0	0	1,900,400	0	21,900,400	21,900,400
当期指定正味財産増減額	-19,950,000	0	0	30,380	0	-19,919,620	-19,919,620
指定正味財産期首残高	118,650,000	0	102,000,000	216,484,686	0	437,134,686	437,134,686
指定正味財産期末残高	98,700,000	0	102,000,000	216,515,066	0	417,215,066	417,215,066
III 正味財産期末残高	403,700,000	334,828,272	371,999,582	276,515,066	65,172,404	1,452,215,324	1,499,232,598

(注)会費収益の7割を公益目的事業会計に、3割を法人会計に配賦した。

事業 年度	自	令和5年3月1日	法人コード	A020813
	至	令和6年2月29日	法人名	公益社団法人日本金属学会

### 資金調達及び設備投資の見込みについて

#### (1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
区分	事業 番号	借入先	金額	用途
			円	

#### (2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
区分	事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	